

報道機関各位

技術科学イノベーション専攻 教授 山口 隆司  
国際産学連携センター UEA 勝身 麻美

## 令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（理解増進部門）を受賞

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を「科学技術分野の文部科学大臣表彰」として顕彰しており、本学の「SDGs 達成に向けた科学技術教育の理解増進と普及啓発」を目的とした活動の実績が認められ、下記3名が代表して受賞する運びとなりました。

受賞名：令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術省（理解増進部門）

業績：SDGs 達成に向けた科学技術教育の理解増進と普及啓発

受賞者：山口 隆司（技術科学イノベーション専攻 教授）

勝身 麻美（国際産学連携センター UEA）

市坪 誠（基盤共通教育部 教授（現 豊橋技術科学大学 IT 活用教育センター 教授））

本学は、VOS（Vitality, Originality, Services）の精神をモットーとする大学としてS（世のための奉仕）を重んじる活動を行っており、SDGs ゲームや講演を通じ親しみながらSDGs（持続可能な開発目標）に触れる機会を創出し、地域社会（初等・中等教育、高等教育、企業、市民等）へのSDGsの認知度を高めると共に、SDGsを「自分ごと」とであるという意識を地域社会に広めるなど、SDGs達成に向けた社会貢献活動を推進しています。

グローバルな社会課題を解決する方法について議論する国際会議「STI-Gigaku」は、2016年度より本学学生の運営により、長岡工業高等専門学校などの全国の高等専門学校、企業、長岡市等自治体、ユネスコなどからの賛同と協力を得て毎年開催され、SDGs達成に向けた教育研究の推進と情報の交換、意識向上を図っています。2017年に科学技術振興機構（JST）からサイエンスアゴラ賞を受賞した本学の学生考案の「SDGs教育ゲーム」は、自治体、教育機関、企業等へ無償提供しており、イベントや研修で使用されています。実践的工学教育にSDGsを取り入れた工学教育プログラムは、「技学SDGインスティテュート」として整備され、2018年には、技学SDGインスティテュートが「UNESCO Chair on Engineering Education for Sustainable Development」として日本の工学系大学初のユネスコチェアプログラムに認定を受けました。研究面からも、「長岡水イノベーションハブ」等の中心となり、SDGsに貢献する水資源利活用の理解促進、産学官金一体の技術開発、人材育成にも貢献しています。

国際会議の継続した開催、自治体等と連携した科学技術への理解を高める教育の提供、国内外と連携した

SDGs 人材育成プログラム構築等の活動は国際的にも高く評価され、2018年に国連本部から国連アカデミック・インパクトのSDGs ハブ大学（ゴール9）として任命されました。また、任命を契機にリソナホールディングス及び関西みらいフィナンシャルグループの発行する「SDGs 推進私募債」の寄附先として指定され、主に新興国からの留学生（SDG プロフェッショナルコース生）に対する奨学金として充てられ、世界的な科学技術レベルの向上にも貢献しています。

本学は、今回の受賞を励みに今後も、SDGs 達成に向けた科学技術教育の理解増進と普及啓発を進めて参ります。

本件に関する連絡先

広報担当：大学戦略課企画・広報室

TEL:0258-47-9207 FAX:0258-47-9010

E-Mail:skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp